

授業科目名	法形修練Ⅱ（剛法）	単位数	2
担当名	志村 力	教場	道場
科目概要及び到達目標	2 段から 4 段までの法形（剛法）を修練する。 ・ 見本、理屈、解説等の指導を行い、指導者の意識を養う。 ・ 法形を修練する中で、相手との間合い、姿勢と重心移動の確認、動きの中の呼吸法等を学ぶ。		
講義内容・授業計画	1：半月蹴、開身突（間合い、下半身の緩め方、受け方、残心） 2：逆天一、払受段突（間合い、手捌き、体捌き、足捌き） 3：順蹴地一、逆蹴地一（攻撃の仕方、前重心からの誘い） 4：払受地二、順蹴地三（攻撃の仕方、一撃目の受け、押え方） 5：逆蹴地三（攻撃の仕方、拳受けの仕方、押受けの仕方） 6：足刀蹴引足波返（攻撃の仕方、誘い方、足捌き等） 7：廻蹴三防受波返（三防受けの仕方、反撃のタイミング等） 8：段蹴三防受段蹴返（段蹴の仕方、反撃のタイミング等） 9：待ち蹴（相手の攻撃意識を抑える） 10：下受突（受けの仕方、反撃、応用 小手投） 11：下受段突（段返の反攻撃線の抑え方等） 12：外受段突（受け方、段突返し等） 14：打上段突（受け方からの段反撃→下半身の使い方） 15：短刀突込下受打落蹴（短刀で突いてくるときの注意） 16：短刀振上げ流水蹴（足捌きからの流水受け） 17：中段返（蹴らせ間合いをつくる、受け方等） 18：蹴天一（鉤足の仕方、蹴りの抑え方等） 19：半月反、水月返、三日月返（誘い、反撃の仕方等） 20：伏虎地二（伏虎間合い、受け方等） 21～23：足拔（二種）質疑応答		
テキスト	『少林寺拳法教範』『金剛禅有段者科目表』		
参考文献			
成績評価の基準	定期考査の成績、授業の出席、態度等		
履修上の注意・履修要件			
備考			